別紙1－18

工事成績採点の考査項目別運用表

［記入方法］該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	1. 創意工夫キーワード（創意工夫が多く見られるリスト）	施工性	品質	安全性	作業環境	その他（項目記載）
5. 創意工夫【軽微なもの】	キーワード評価	■準備・後片付け関係					
		□ 1. 測量・位置出しにおける工夫	□	□			□（　）
		□ 2. 現地調査方法の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 3. その他：（　）	□	□	□	□	□（　）
	土木工事（一般）□	■施工関係					
		□ 4. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 5. コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫及び工事加工製品を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫。又は、リサイクルに対する積極的な取り組み。	□	□	□	□	□（　）
		□ 6. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 7. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 8. 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 9. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 10. 照明・視界確保等の工夫	□		□	□	□（　）
		□ 11. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫	□		□	□	□（　）
		□ 12. 運搬車両・施工機械等の工夫	□		□	□	□（　）
		□ 13. 支保工、型枠工、足場工及び仮桟橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫	□		□	□	□（　）
		□ 14. 施工管理及び品質向上等の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 15. 建築工事でプレハブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫	□	□		□	□（　）
		□ 16. 建築工事で改修工事における仮設備の工夫	□		□	□	□（　）
		□ 17. その他：（　）	□	□	□	□	□（　）
		■品質関係					
		□ 18. 集計ソフト等の活用と工夫		□			（　）
		□ 19. 土工関係、設備関係、電気関係の工夫		□			（　）
		□ 20. コンクリートの打設関係の工夫（材料、打設、養生、出来形・品質等）		□			（　）
		□ 21. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫		□			（　）
		□ 22. 配筋・溶接作業等に関係する工夫		□			（　）
		□ 23. 建築関係で躯体工事の品質管理の工夫		□			
		□ 24. 建築関係で材料の検査試験に関する工夫		□			
		□ 25. 建築関係で施工の検査試験に関する工夫		□			
		□ 26. 建築関係で品質試験方法の工夫		□			
		□ 27. その他：（　）		□			（　）
		■安全衛生関係					
		□ 28. 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等）	□	□	□	□	□（　）
		□ 29. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 30. 現場事務所、労務者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫、	□	□	□	□	□（　）
		□ 31. 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理、及び粉塵防止策や作業中の換気等等の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 32. 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 33. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 34. 建築工事で苦渋作業等の作業環境低減等の工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 35. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫	□	□	□	□	□（　）
		□ 36. 建災防等による建設従事者に対する安全衛生教育（該当があればチェック。）	□	□	□	□	□（　）
		□ 37. その他：（　）	□	□	□	□	□（　）
		■施工管理関係					
		□ 38. 盛土の締固、場所打ち杭や既製杭の施工高さ等の施工に関係する工夫		□			
		□ 39. 建築工事で出来形管理等に関する工夫		□			
		□ 40. 施工計画書及び写真管理等の工夫（デジタル写真ソフトの活用等）		□			
		□ 41. 出来形、品質との計測関係等の工夫、及び集計、管理図等の工夫		□			
		□ 42. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用		□			
		□ 43. その他：（　）		□			
		■その他					
		□ 44. その他：（　）	□	□	□	□	□（　）
		□ 45. その他：（　）	□	□	□	□	□（　）
		□ 46. その他：（　）	□	□	□	□	□（　）
	記述評価【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点：　　点 ※ ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は＋7点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。	【創意工夫の詳細評価】				

※1. 創意工夫においては「4. 高度技術」の考査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。
※2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本考査項目でも再評価する。
※3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
※4. キーワードの評価（選定）及び詳細評価は、検査員及び担当課長との合議をもって記述する。
※5.「4. 高度技術」との二重評価はしない。